

2017年3月期第1四半期

決算補足説明資料

2016年8月15日

株式会社レアジョブ

1. 2017年3月期第1四半期について

① 前年同期比で増収増益

売上：

＜前年＞ 570百万円⇒＜実績＞ 620百万円（前年同期比108.9%）

売上高は過去最高となりました。

営業利益：

＜前年＞ △17百万円⇒＜実績＞ 37百万円（前年同期比 ー%）

② 大阪支社の設立

三井物産(株)との連携を深め、関西地域の法人事業を強化。
法人導入社数は845社になりました。

③ ビジネスコースのリニューアル

成人向けのビジネスニーズに応えるため、PCPPモデルに基づくビジネスコースに大幅にリニューアルしました。

※PCPPモデル：教科書を用いた内容中心の授業はPresentation（提示）、Comprehension（理解）、Practice（練習）、Production（産出）の流れで行うことが効果的であるという考え方。

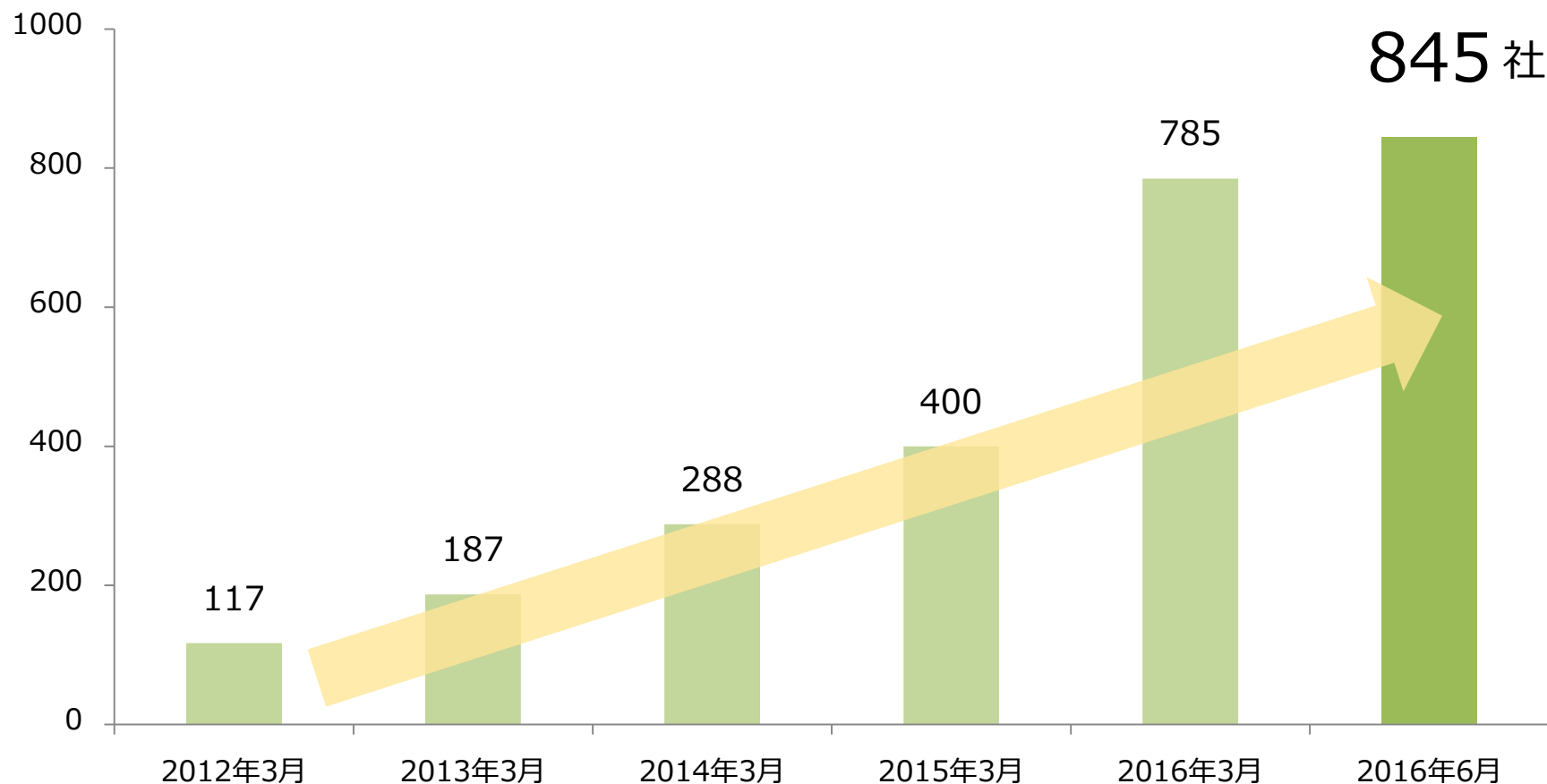
①2017年3月期第1四半期 業績概要

前年第1四半期と比較して、法人営業の伸長や有料会員当たり月額単価が上昇し、売上高は増収（過去最高）となりました。営業利益についても、人員増による人件費の増加はあったものの、増販益および前年の一時要因（本社移転費用）等の影響がなく、増益となりました。

単位：百万円	2017年3月期 第1四半期実績	2016年3月期 第1四半期実績	前年 同期比	2017年3月期 通期予想	進捗率
売上高	620	570	108.9%	2,700	23.0%
営業利益	37	△17	-	100	37.6%
営業利益率	6.0%	△3.0%	-	3.7%	-
経常利益	28	△23	-	100	28.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	△19	-	65	32.4%

②大阪支社の設立

法人事業の拡大に伴い、三井物産関西支社内に大阪支社を設立
関西地域の法人営業を強化し、関東、関西ともに、法人導入社数
(※) が順調に増加しております。



※当社と直接法人契約を締結または代理店経由で契約している企業と社内の福利厚生として導入（従業員と当社間の契約）している企業の合計数

③ ビジネスコースリニューアル

ビジネスコースリニューアル

成人向けのビジネスニーズに応えるため、4月より、ビジネスコースのリニューアルをしております。一般講師よりも厳しい品質基準をクリアした認定講師によるレッスンとPCPPモデルに基づいた教材を提供することで、英語習得に迫られているシリアスラーナー向けにより**成果訴求**できる**サービス**の提供を開始しております。



ビジネス認定講師



実践ビジネス教材
(PCPPモデル)

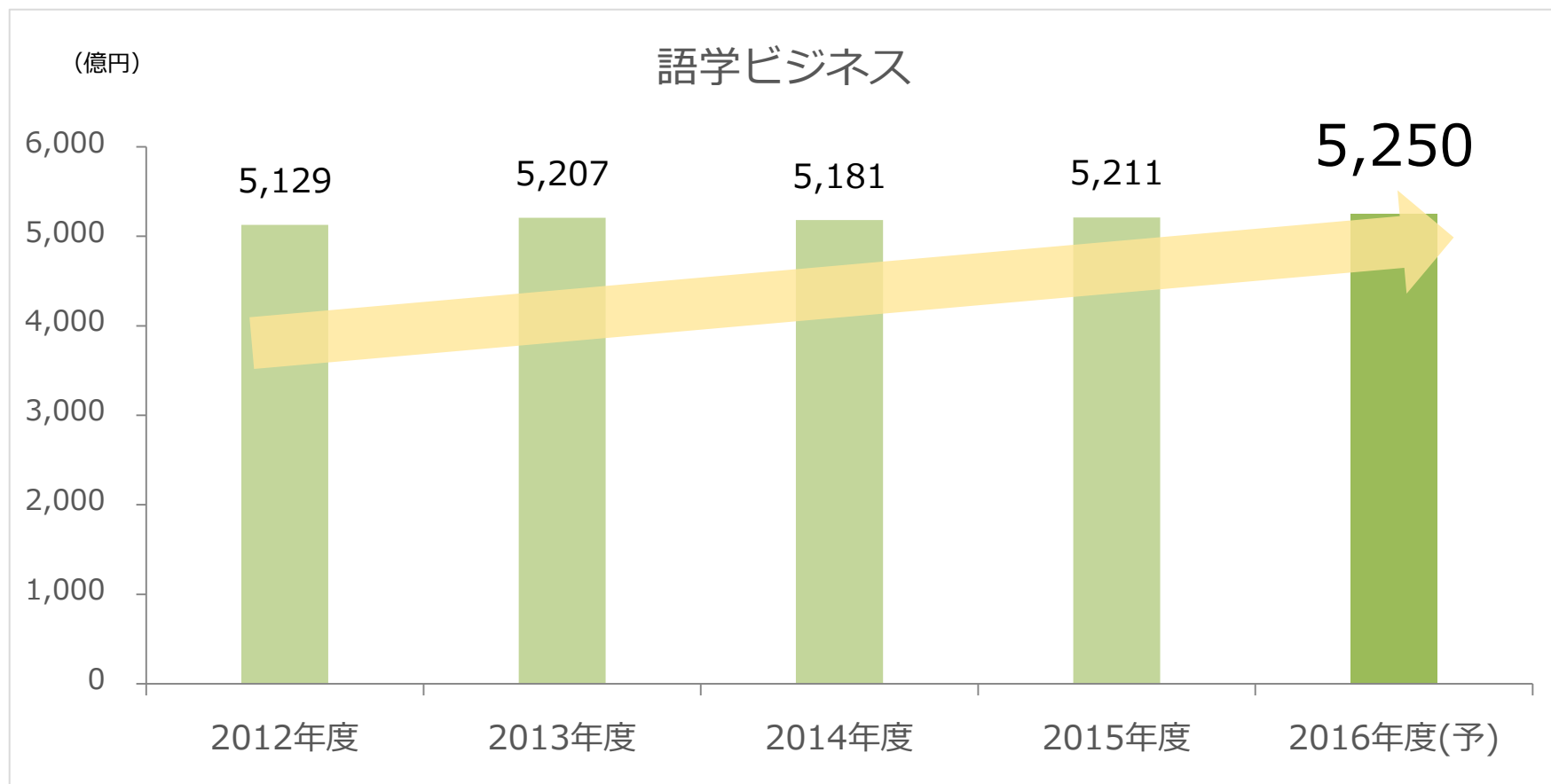
成果にコミットしたレッスンを提供

2. 関連市場の動向について

- 1) 語学ビジネスは市場全体は緩やかながら堅調な伸び。
- 2) eラーニングが占める市場全体に占める割合はまだ低く、オンライン英会話の拡大余地はある。
- 3) 語学ビジネス市場の中でも「成人向けビジネス市場」、「幼児・子供向け（学生向け）市場」はニーズが高まっている。

語学ビジネス市場全体

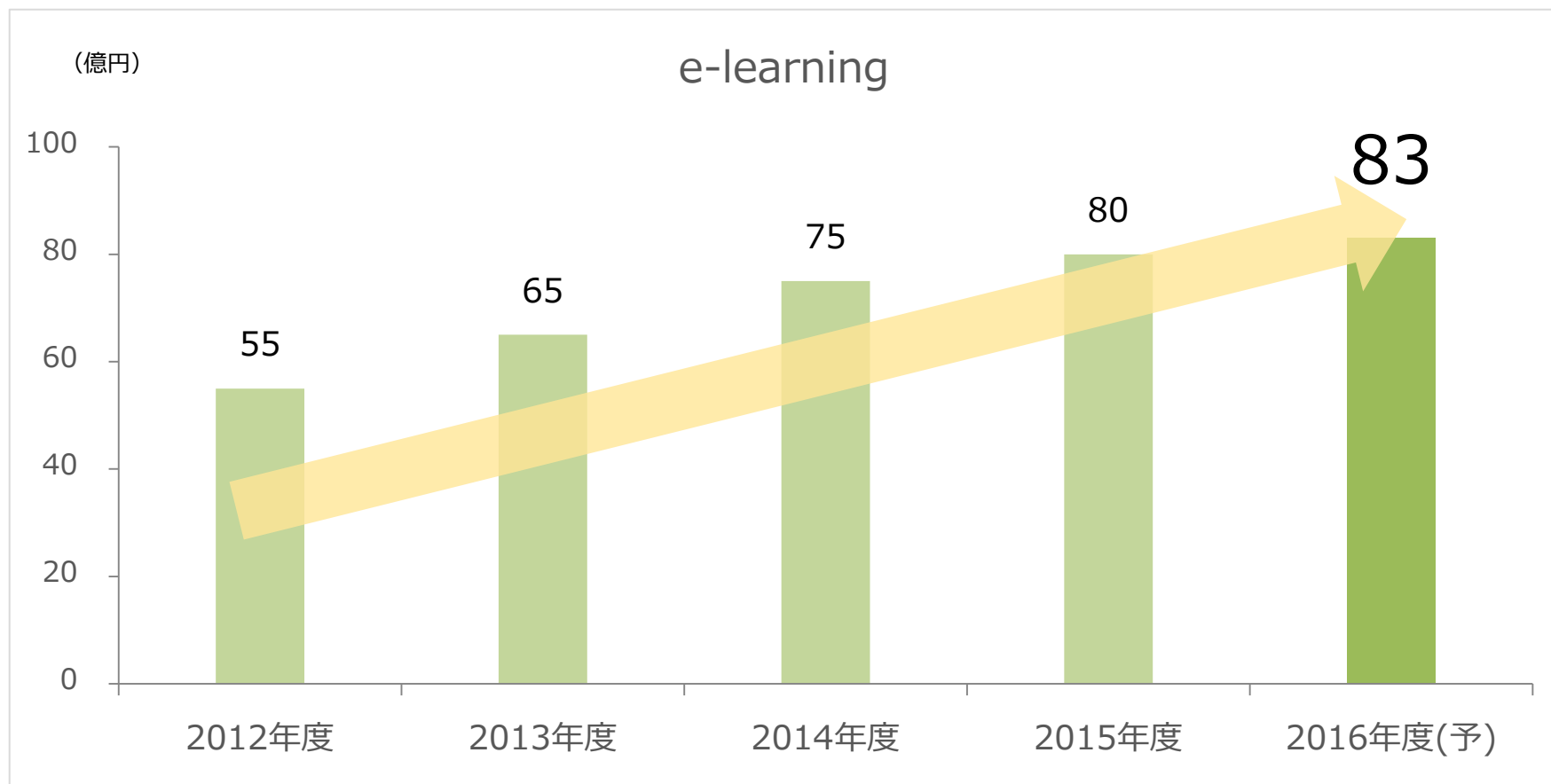
語学ビジネス市場全体では、緩やかながら堅調に伸びており、2016年度（予）で約**5,250億円**の市場となっています。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2016」

語学ビジネス市場（eラーニング）

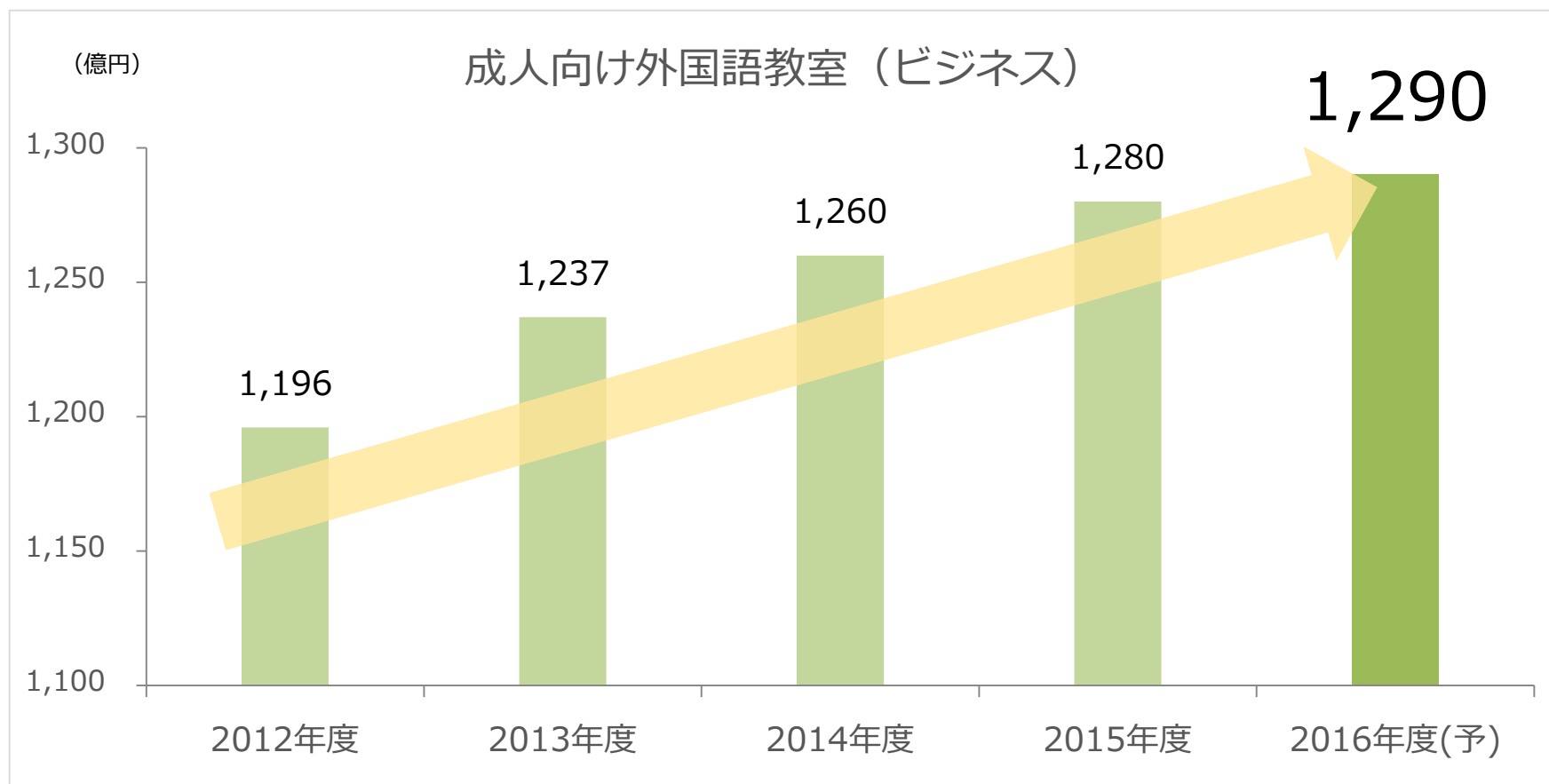
語学ビジネス市場約5,250億円のうち、eラーニングはいまだ約83億円（2016年度）で、オンライン英会話の拡大余地は大きいとされます。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2016」

語学ビジネス市場（成人向けビジネス）

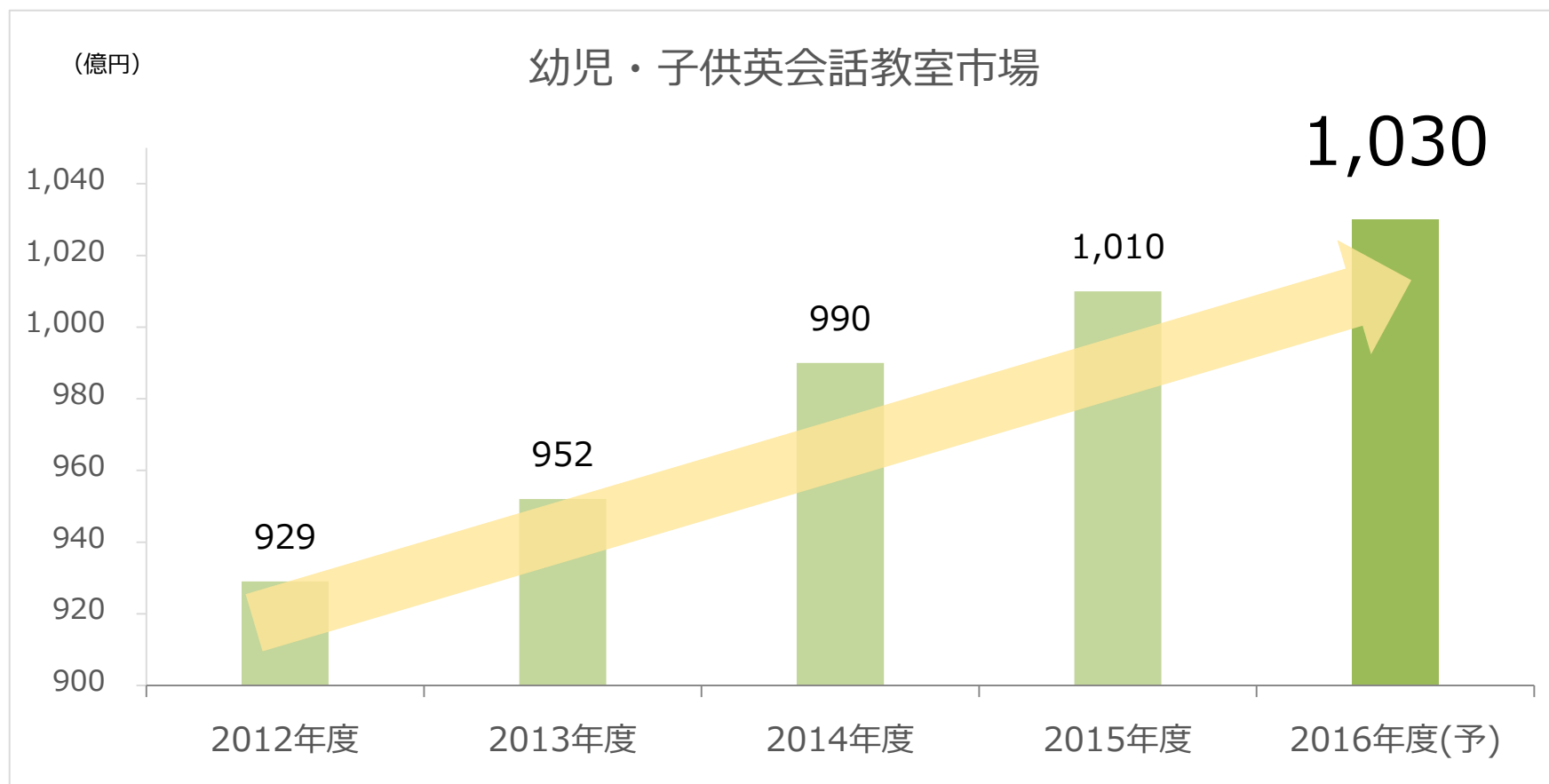
成人向け（ビジネス）市場規模は約**1,290億円（2016年度）**あり、語学ビジネス市場において、成人向け外国語教室市場は堅調に拡大し続けております。レアジョブではビジネスニーズに対応したサービスのリニューアルを行っております。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2016」

語学ビジネス市場（幼児・子供向け英会話）

幼児・子供向け市場規模は約**1,030億円（2016年度）**であり、語学ビジネス市場において、子供英会話教室市場は急速に拡大しております。レアジョブでも、中・高生向けのサービス提供を行っており、またサービス強化のため海外子会社を設立いたします。



出典：矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート2016」

3. 2017年3月期第2四半期以降の取り組みについて

学校法人向け事業の強化へ（事業環境①）

2020年より大学入試の英語科目は、新たに「スピーキング」が導入され、4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）を直接測定されることが予定されています。

さらに、文部科学省より公表された小中高校の学習指導要領の改訂案においては、英語教育の充実が叫ばれており、早期英語教育への関心はますます高まりを見せております。



文部科学省の施策スケジュール

2016年度：

- 高等学校基礎学力テスト①／大学入学希望者学力評価テスト②の骨子確定
- 大学の個別選抜の改革が進み、英語4技能化が加速

4技能試験対策の動きが加速



2017年度：

- ①・②のプレテスト実施
- 英語教員の英語力向上
→英検準1級同等の資格を中学50%、高校75%で取得

英語教員の英語力＋指導スキルUP



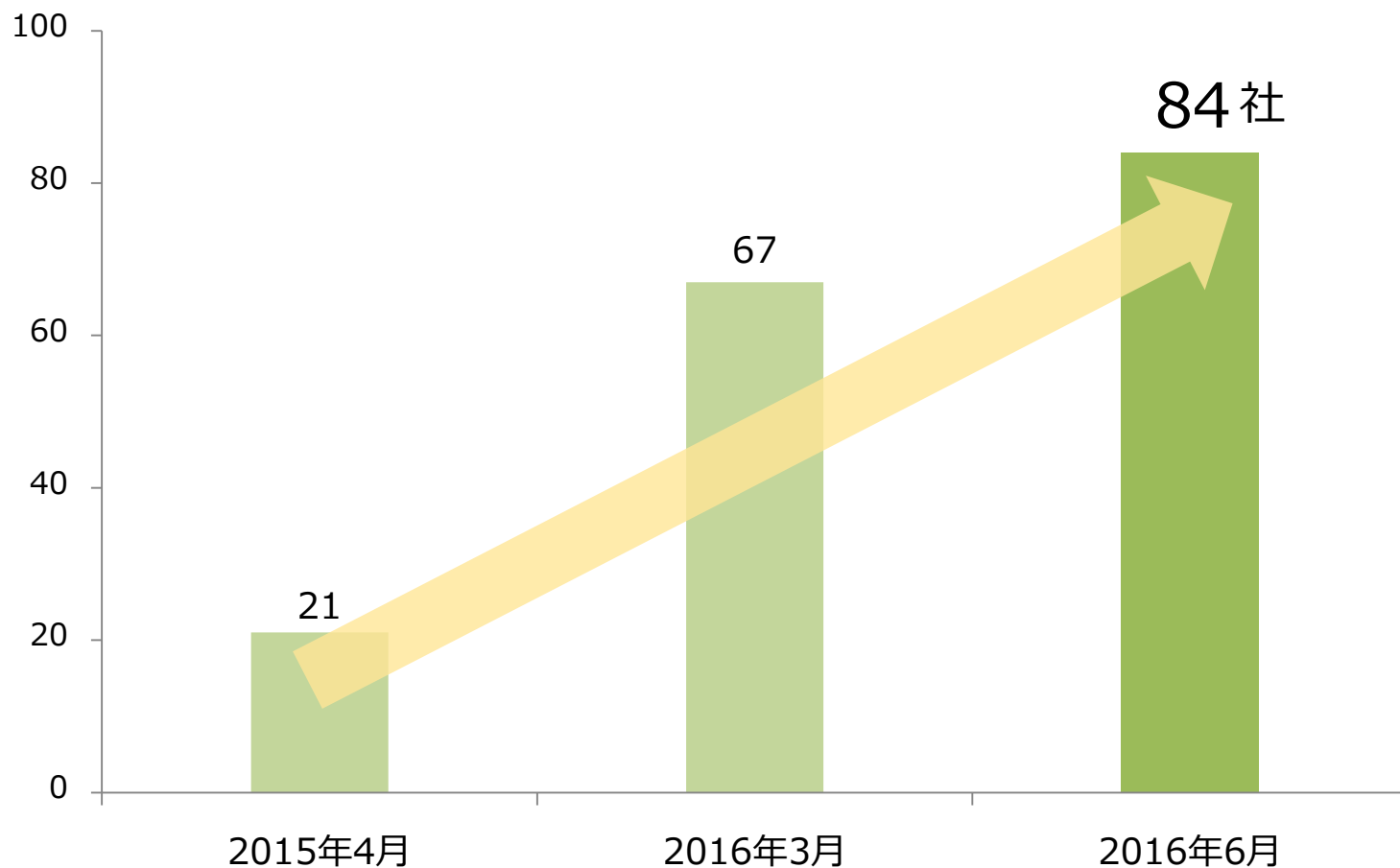
2018年度：

- 小学校における英語の「教科」化
- 外国語活動の開始学年を3年生に引き下げ。

小学校教員の英語対応

学校法人向け事業の強化へ（導入実績）

レアジョブでは、学校現場においてスピーキング能力の強化が求められてきている流れを受け、2015年4月より正式にスクール事業をスタートし、導入実績は84校となっております。現状ではまだテスト導入段階であり、今後、全国的な導入の流れが来るものと想定しております。



学校法人向け事業の強化へ（海外子会社の設立）

これまでの導入実績より、教育現場ではより安定したサービス提供に対するニーズが強く、そのため海外子会社を設立し、新センターを開設いたします。新センターにおいて、優秀な講師を確保&教育することで、より質の高いレッスンを提供します。



【会社概要】

社名：Envizion Philippines, Inc.

所在地：フィリピン共和国ミサミス・オリエンタル州
カガヤン・デ・オロ市

事業内容：オンライン英会話事業

資本金：20万USドル（予定）

設立：2016年9月（予定）

今後の取り組み

引き続き、ニーズの高まりを見せる「**成人向けビジネス市場**」「**学生向け市場**」を中心に積極的に投資を行ってまいります。



(1)ビジネス、学生向けの教材、
レッスン、Webの改善、
品質の大幅強化



(2)三井物産との連携による事業法
人、学校向けの営業体制の強化



(3)増進会出版社（Z会）向けの
サービス開発



(4)本気塾等のブレンディッド
サービスの強化

グループビジョン

Chances for everyone, everywhere.

サービスミッション

日本人1,000万人を英語が話せるようにする。

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社レアジョブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社レアジョブ IR担当

TEL : (03) 5468-7401

MAIL : ir@rarejob.co.jp